貸　借　対　照　表

（１）　資産の概況
　有形固定資産は1億6,549万円（1.1%）の減少となりました。Ｅ館キュービクル更新4,867万円、電話交換機更新2,432万円等により、建物・構築物・備品・図書で4億50万円増加しましたが、防球ネット、Ｅ館設備、備品、図書の除却等で9,149万円の減少となりました。その他の固定資産は、引当特定資産への繰入れを行い、23億581万円（18.4%）増加しました。
（２）　負債の概況
　固定負債は退職給与引当金が4,450万円（1.7%）減少、流動負債は2億1,178万円（10.8%）増加し、負債の部合計では1億6,728万円（3.6%）増加しました。
（３）　基本金の概況
　第1号基本金は、建物9,157万円、構築物2,088万円、図書5,693万円他の合計6,556万円の増加となりました。第2号基本金は、「創立80周年記念大隅校地整備事業資金」として10億円、「大隅校地校舎等建替建築資金（校舎等）」として1億円、「大隅校地校舎等建替建築資金（図書館）」として2億円、「南校地校舎等建替建築資金（学生会館）」として2億円を組入れました。
　第3号基本金は、「大阪経済大学奨学基金」として1億円を組入れました。

平成20年3月31日

（単位：円）

資産の部			
科目	平成19年度末	平成18年度末	増減
土地	3,002,300,937	3,002,300,937	0
建物	8,256,855,542	8,502,292,821	△ 245,437,279
構築物	491,957,095	480,904,947	11,052,148
教育研究用機器備品	523,664,079	510,063,234	13,600,845
その他の機器備品	18,539,479	20,771,424	△ 2,231,945
図書	2,982,208,346	2,925,279,116	56,929,230
車輌	662,762	63,132	599,630
有形固定資産計	15,276,188,240	15,441,675,611	△ 165,487,371
敷金	39,521,880	39,521,880	0
電話加入権	3,950,906	3,950,906	0
施設利用権	7,500,000	7,500,000	0
供託金	197,320	0	197,320
預託金	5,380	0	5,380
有価証券	1,391,050	1,391,050	0
長期貸付金	306,218,341	328,156,717	△ 21,938,376
引当特定資産	2,283,379,675	2,035,733,893	247,645,782
引当特定資産	11,806,562,321	9,826,658,801	1,979,903,520
引当特定資産	400,000,000	300,000,000	100,000,000
その他の固定資産計	14,848,726,873	12,542,913,247	2,305,813,626
固定資産計	30,124,915,113	27,984,588,858	2,140,326,255
現金預金	6,823,976,178	7,510,895,871	△ 686,919,693
未収入金	141,866,363	68,237,940	73,628,423
短期貸付金	63,111,481	65,934,024	△ 2,822,543
前払金	20,675,950	23,873,652	△ 3,197,702
流動資産計	7,049,629,972	7,668,941,487	△ 619,311,515
資産の部合計	37,174,545,085	35,653,530,345	1,521,014,740

（単位：円）

負債の部			
科目	平成19年度末	平成18年度末	増減
退職給与引当金	2,632,841,341	2,677,340,735	△ 44,499,394
固定負債計	2,632,841,341	2,677,340,735	△ 44,499,394
未払金	85,317,711	73,698,206	11,619,505
前受金	1,911,876,460	1,725,726,240	186,150,220
預り金	176,009,705	162,003,332	14,006,373
流動負債計	2,173,203,876	1,961,427,778	211,776,098
負債の部合計	4,806,045,217	4,638,768,513	167,276,704

（単位：円）

基本金の部			
科目	平成19年度末	平成18年度末	増減
第1号基本金	21,321,879,806	21,256,316,817	65,562,989
第2号基本金	2,600,000,000	1,100,000,000	1,500,000,000
第3号基本金	400,000,000	300,000,000	100,000,000
第4号基本金	460,000,000	460,000,000	0
基本金の部合計	24,781,879,806	23,116,316,817	1,665,562,989

（単位：円）

消費収支差額の部			
科目	平成19年度末	平成18年度末	増減
翌年度繰越消費収入超過額	7,586,620,062	7,898,445,015	△ 311,824,953
消費収支差額の部合計	7,586,620,062	7,898,445,015	△ 311,824,953

（単位：円）

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部　合計			
科目	平成19年度末	平成18年度末	増減
負債の部、基本金の部 消費収支差額の部合計	37,174,545,085	35,653,530,345	1,521,014,740

注記
(1) 重要な会計方針
①引当金の計上基準
・徴収不能引当金の計上方法は、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。
・退職給与引当金の計上方法は、期末要支給額 2,413,010,500円の100%を基にして私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との組入れ調整額を加減した金額を計上している。
②その他の重要な会計方針
・有価証券の評価基準及び評価方法は、移動平均法に基づく原価法である。
・所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法は、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
・預り金その他経過項目に係る収支は相殺して表示している。
・補助活動に係る収支は総額で表示している。
(2) 重要な会計方針の変更等：該当なし
(3) 減価償却額の累計額の合計額　6,001,239,799円
(4) 徴収不能引当金の合計額　10,440,000円
(5) 担保に供されている資産の種類及び額：該当なし
(6) 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額　0円
(7) その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項
①有価証券の時価情報

（単位　円）

種類	当年度（平成２０年３月３１日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	799,950,000	807,221,000	7,271,000
（うち満期保有目的の債券）	799,950,000	807,221,000	7,271,000
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	7,799,650,000	6,670,221,000	△1,129,429,000
（うち満期保有目的の債券）	7,799,650,000	6,670,221,000	△1,129,429,000
合計	8,599,600,000	7,477,442,000	△1,122,158,000
（うち満期保有目的の債券）	8,599,600,000	7,477,442,000	△1,122,158,000

※時価の算定方法は、取引金融機関から提示された価格によっている。
②デリバティブ取引：該当なし
③学校法人の出資による会社に係る事項：該当なし
④主な外貨建資産・負債：該当なし
⑤偶発債務
　退学処分とした元学生により、学生の地位確認等請求事件（大阪地裁18(ワ)2050号、請求金額1,100万円）について係争中である。また、別件の損害賠償請求事件（大阪地裁　17(ワ)12356号、同223万円）の判決があり、本法人への一部金額（19万円）の支払いを言い渡されたが、大阪高等裁判所に控訴し係争中である。
⑥所有権移転外ファイナンス・リース取引
　通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	905,209,529円	519,284,581円
その他の機器備品	7,190,525円	3,796,080円
計	912,400,054円	523,080,661円

⑦純額で表示した補助活動に係る収支：該当なし
⑧関連当事者との取引：該当なし
⑨後発事象：該当なし